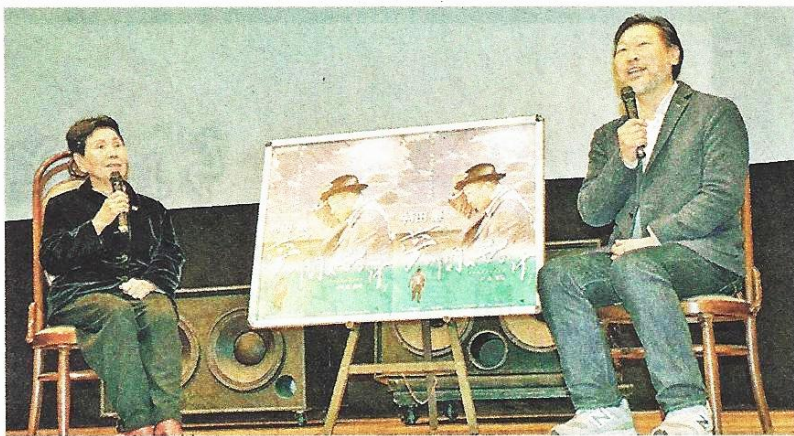


# 袴田さん映画 先行上映

## 静岡 日常を記録、90人鑑賞

静岡地裁の再審開始決定で二〇一四年二月に釈放された袴田巖さん(七九)＝浜松市＝の日常を追ったドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」の先行上



映会が三十一日、静岡市葵区のサールナートホールであった。監督の金聖雄さん(五三)と姉秀子さん(ハコ)が舞台あいさつし、撮影時の思い出や袴田さんの近況を語った。

映画は約二時間で、釈放翌月の一四年四月から昨年八月まで浜松市の自宅での生活を中心に撮影。親族の幼児をあやしたり、パンを大量に買ってきたりする袴田さんを秀子さんが温かく見守る様子などが映し出され、九十人の観客は時折笑

いながら鑑賞した。

舞台あいさつで金監督は「秀子さんは袴田さんに何でも自由にやらせる。腹をくくっている姿や明るさに人間の持つ強さを感じた」と振り返った。

秀子さんは「最近の巖は表情も明るくなり、以前より人と会話するようになった。映画でも、巖の歩き方が徐々に元気になっていく変化を見てほしい」と話した。

一般公開は二月二十七日にポレポレ東中野(東京都)で始まり、静岡県内は三月十九日からシネマイーラ(浜松市)とサールナートホール内の静岡シネ・ギヤラリーで上映される。

上映後、撮影中の思い出話などを語る金監督(右)と秀子さん(左)31日、静岡市葵区で

**新生活応援セル**

ビエゴカゴ